



2024.10.15

報道関係各位

アストンマーティン ジャパン

Q by Aston Martin からジェームズ・ボンドとの 60 周年を祝う DB12 ゴールドフィンガー・エディションを発売

- 世界的に有名な 2 つのブリティッシュ・ブランドージェームズ・ボンドとアストンマーティンーの 60 年にわたるパートナーシップを記念するアストンマーティン DB12 ゴールドフィンガー・エディション 60 台限定モデル
- いまやアイコン的な存在となった DB5 がボンド映画に初めて登場した『007/ゴールドフィンガー』からインスピレーションを得たビスポーク仕様
- ウルトラ・ラグジュアリーなスーパーツアラードB12 が、アストンマーティンのビスポーク・パーソナライゼーション部門の手で 007 仕様に
- 驚異的なクラス最高出力 680PS/800Nm を発揮する 4.0 リッターV8 ツインターボエンジン



2024 年 10 月 14 日、ゲイドン（英国）：

アストンマーティンは、映画 007 シリーズとの 60 年にもわたるアイコン的な関係を記念し、ウルトラ・ラグジュアリーなビスポーク・パーソナライゼーション部門 Q by Aston Martin による DB12 ゴールドフィンガー・エディションを発表します。

映画史の中でも屈指のパートナーシップとなったこの顔合わせは、アストンマーティン DB5 が銀幕デビューを飾った 1964 年公開の『007/ゴールドフィンガー』に遡ります。DB5 は世界で

誰もが知るクルマとなり、このことはアストンマーティンの輝かしい「DB」の血統にとって極めて重要な一歩となりました。今、その血統を継ぐ最新モデルが、007仕様になって登場します。

DB12 ゴールドフィンガー・エディションは、アストンマーティンの111年の輝かしい歴史の半分以上に及ぶ60周年という歴史的な年を祝し、全世界で60台のみ限定販売されます。

DB12 ゴールドフィンガー・エディション

かつて映画『007/ゴールドフィンガー』に登場したDB5はボンドが敵から逃れるための秘密兵器を搭載していましたが、DB12 ゴールドフィンガー・エディションは映画の要素をさりげなく取り込み、ジェームズ・ボンド的なドライビングを楽しむことに重点を置いています。

映画のアイコン的なシルバーバーチのボディカラーに身を包んだDB12 ゴールドフィンガー・エディションは、一目見ただけで明らかなステートメントを発しています。印象的な21インチのマルチスポークホイールは独特なシルバー色のダイヤモンド旋削仕上げで、ブラックのブレーキキャリパーとビスポークのゴールドのサイドストレーキ、シルバーにブラックエナメルを施した唯一無二のアストンマーティンのロゴがそれをさらに引き立てています。ブライトクロームの「Q」が飾るフェンダーバッジは、このDB12がまさに特別に手を加えられたものであることを証明します。

インテリアでは、クラシックなDB5同様の縦キルトのレザーのスポーツプラスシートは、ジェームズ・ボンドのスーツを思わせるプリンス・オブ・ウェールズ・チェックを繊細なパーフォレーション加工で表現しています。同じチェック柄がドアインサートとヘッドライナーにも展開されるほか、独自のトレッドプレートにも刻まれています。ポリッシュ仕上げのシルプレートにはゴールドフィンガー60周年のロゴがあしらわれています。

インテリアのウルトラ・ラグジュアリー感をさらに高めているのが、ドライバーが触れる場所に施される18金メッキのアクセントで、ドライブモードを選択するためのロータリーダイヤルとローラーコントロール類、映画でボンドが使用する黄金の発信器にインスピレーションを得た溝付きのギアセクターの装飾に使用されます。同様の装飾はトリムインレーでも展開され、2X2 ツイルグロス・カーボンファイバーに金糸が織り込まれます。

ドライバー席のサンバイザーには、マイアミのプールが舞台となった有名なワンシーンで最後に引かれたトランプのカードを連想させる「ハートの8」が刺繍されているのもボンド・ファンにとってはうなずきたくなるさりげなきです。

DB12 ゴールドフィンガー・エディションのオーナーに贈られる特別ギフト

アストンマーティンDB12 ゴールドフィンガー・エディションには、クルマと同じくらいエクスクルーシブなギフトが付属します。オーナーには、カスタムのカーカバーとラグジュアリーなキープレゼンテーションボックス、シルバーバーチのスピードフォーム模型、さらに真にレ

アナ一品として映画の有名なフルカ峠のシーンの 35mm フィルムの一片が贈られます。また、アストンマーティン・マガジンの 1/60 ゴールデン・リミテッド・エディションも含まれます。特別に取りそろえられたこれらの品々は、クルマ本体と同じく、外はシルバーバーチ色、中はプリンス・オブ・ウェールズ・チェック柄の Globe-Trotter 製のアタッシュケースに入っています。

また、個別に番号の付いた 2007 年物のシャンパン「ボランジェ」のマグナムボトルも、「ボランジェ 007」グラス 4 脚と共に、ビスポークの Globe-Trotter 製のエア・キャビン・ケースにエレガントに収められて贈られます。

Q by Aston Martin

DB12 ゴールドフィンガー・エディションは Q by Aston Martin の社内デザインエキスパートたちの手で生み出されました。Q by Aston Martin はアストンマーティンでパーソライゼーションとビスポークを担当する部門で、ボンド映画の「Q 支部」のように、無限の可能性を現実に変えます。Q by Aston Martin のデザイナーや職人の技を活用することで、お客様には個性的な細かいディテールから完全ビスポークの構成部品の本格的なエンジニアリングと製造まで、あらゆる面を網羅する、自分だけのコミッションをご体験いただけます。デザインチームにとって手の届かないものはありません。無限の可能性で、真に 1 台だけのクルマを実現します。

アストンマーティンのグローバルチーフブランド&コマーシャルオフィサーであるマルコ・マティアッチは次のように述べています。「アストンマーティンとジェームズ・ボンド・シリーズとの関係は、ずっと大切にされてきたものです。この類いまれなスペシャル・エディションは、60 年にわたるパートナーシップを祝い、初代の、そしておそらくは最も有名なアストンマーティンのボンド・カーを記念できる素晴らしい機会だと思います。当社が誇る「Q」部門による、さりげなくも極めて印象的な要素を織り込むことで、世界中のボンド・ファン垂涎の極めてユニークなクルマができたと思います。」

「Q by Aston Martin のおかげで、私たちは真に一台だけのクルマを生み出すことができます。多くの場合、それは大切なお客様の夢を発端としています。その夢がどれほど大きくても小さくても、実現のお手伝いができることに大きな喜びを感じます。」

究極のスーパーツアラーと 007 との出会い

アストンマーティン DB12 はパフォーマンス、ウルトラ・ラグジュアリー、スタイルの極上の融合を実現し、DB の名高い血統を新たな高みに押し上げました。強力な 4.0 リッター V8 ツインターボエンジンを動力源としてベストインクラスの 680PS/800Nm という出力を発揮し、先進的なサスペンション・システムを備える DB12 は、スリリングでありながら洗練されたドライビングを保証します。

DB12は、アストンマーティンの次世代スポーツカーで初めて、社内設計・開発の、最先端テクノロジーを駆使した新しいインフォテインメント・システムを採用しています。タッチスクリーンでの操作と手で操作するスイッチとの完璧なバランスを実現したこのインフォテインメント・システムは、初のアストンマーティン製で、そのためエンターテインメントとナビゲーションに関してもアストンマーティン独自のシステムとなっています。ボンド映画に触発されたDB12にふさわしいBGMを楽しめるように、ゴールドフィンガー・エディションはBowers & Wilkinsの新型オーディオシステムを標準装備しています。

アストンマーティンDB12は、アストンマーティンが最初に世に送り出した次世代スポーツカーです。2023年のデビュー以後、スーパーツアラーのDB12の後には新型Vantage、DBX707、さらには先日公開されたばかりのVanquishが続いています。DB12ゴールドフィンガー・エディションのデリバリーは2025年第2四半期に開始される予定です。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-ddiUlxgCco>

アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBX707に加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿

に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda
Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific
有澤 久美子

kumiko.arisawa@astonmartin.com

Marketing & Communications Manager-Japan
松永 悠理

yuri.matsunaga@astonmartin.com

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

astonmartin-pr@pjbc.co.jp